

第8期介護保険事業計画・第9次高齢者保健福祉計画に基づく事業の検証

(菊川市介護保険事業計画等策定ワーキンググループからいただいた意見等)

推進：資料3
令和5年度 第3回 菊川市介護保険事業計画等推進委員会 (令和5年9月27日)

No.	目標	施策	事業	ページ	充実させる方法	現状の問題点や課題	その他(自由記述)	担当課	担当係
1	1	1	①地域包括支援センターの運営・基盤整備	44	菊川市のまちを理解する ・旧菊川と小笠はニーズが違う ・包括体制の人員強化！ ・多機関との協働強化 課題の複雑化、困難さ ・生活支援コーディネーターとの協働 ・包括運営協議会の役割 ・管内社福との協働 市がきちんと目標を持って！	包括の認知度は？？ 包括の自己評価？？ 地域包括業務評価 総合相談支援事業7,000→5,000→6,000？？ 地域ケア会議は機能しているの？ 地域ケア実務者検討会…どんなことを議論？ 介護予防ケアプラン…外注は？？？ 権利養護…包括は権利養護の窓口 機能しているの？ 成年後見制度 市長申立は 虐待対応！ きちんと機能している？虐待の判断をコア会議で！ 権利養護相談 相談内容の分析、結果は？ ケアマネの支援 パーンアウトするケースが多い 相談にのり、寄り添い支援を！ 総合相談の分析→細かく！	包括は地域共生社会実現の鍵です。 常に業務を評価し、ブラッシュアップが必要です。	長寿介護課	包括支援係
2	1	1	①地域包括支援センターの運営・基盤整備	44	地域包括支援センターの業務は多岐に渡り、これ以上地域包括支援センターに何かを望むのは難しい状況です。そのため、先ずは市民相談窓口として「菊川コンシェルジュ」を立ち上げ、困りごと、分からないことがあれば「ここに行けば何とかかなる」という体制づくりと、相談内容に応じて各担当者に連絡し、多職種連携により総合的に対応できる「ワンストップ窓口」を構築したい。	地域包括支援センターは、業務が多岐に渡りキャパシティオーバーになっている。また現在、相談者は相談内容に応じて「あっちに行け、こっちに行け」と、たらい回し状態になっているため。		長寿介護課	包括支援係
3	1	1	②総合相談支援事業	45	誰もが相談しやすい環境づくり ・場所や時間の工夫 ・窓口の出張等 ・身近な場所で相談できる。 買い物等で出かけたときに相談できる。 受診した時に相談できる。 思ったその時に相談できる。	子供世代が独立後ひきこもりされてしまう方々を耳にすることが多い。 70歳以後の女性に多い。 ちょっとした体の変化等から始まり、受信後も自宅に引きこもってしまいます様子。 受診後も自宅に引きこもってしまいます様子。 子供たちも気にしている様子だが自分たちの生活もある。 相談したくてもなかなか支援センター行くことができていない。 ひきこもって間もない時であれば時間がかからず外に出られるようになるが長い時がすぎてしまうと、それだけ困難になるように感じる。 地域でもサロンもあるが、出席できていない様子です。 ご本人への支援も大切であるが、子世代への支援も必要である。		長寿介護課	包括支援係
4	1	1	③包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	46	ケアマネジャー協議会との連携	・ケアマネジャー協議会との連携が不十分。研修計画が重くなってしまったり、研修内容が積み重ねではなく互いにそれぞれになり、参加しにくい。協議会・市の研修計画をすり合わせ、ケアマネの質向上に繋がるように調整が必要。互いにバラバラだと効果が少ない。 ・事例検討会や地域ケア会議がケアマネや介護事業所に十分なフィードバックがされていない。検討することによる意味が十分フィードバックされていないことが事例を提出するケアマネの少なさにも繋がっていると感じる。		長寿介護課	包括支援係
5	1	2	⑤(キ)地域住民への普及啓発	51	ACPIについては、自身が健診でひっかかった、身内や知り合いが病気になったなどのタイミングで自分の健康について考えるきっかけになる。そのタイミングでACPを考える介入がしやすい。そこをどのようにピックアップする方法があるのかは課題。もし介入できるのであれば家族単位で考える機会を作り、若い世代にも一緒に考え周知させていくことが大事に思う。医療機関や市役所、地区単位での、定期的？な相談コーナーの設置(何かのイベントとセット)。ACPの介入のタイミングで「私のこれからノート」の利用を勧める。	市民向けの講演会などですでに周知はされているが、自分自身や自分の家族のことと考えることまでは中々つながることができていない。どうしても急ぐ案件ではないことが多いので、後回しにされてしまう。医療機関でもその業務にまわっており、介入できる時間確保が困難。タイムリーに対応できる職員かボランティアで対応できれば、「私のこれからノート」を書くことが面倒。考えなければいけない内容なので。自分の生い立ちを書くことが、楽しい人もいると思うが考えることもしたくない人もいると思う。	「私のこれからノート」をお試しバージョンにしてもっと気軽に記入できるものを作る？記載方法ではなく、チェックリスト的なものからトライするとか。いよいよ時にどうするのではなく、今からどうすごしたいとか負担なく試してみたい内容にするとか。。。	長寿介護課	高齢者福祉係 包括支援係
6	1	4	②配食サービス事業	52	支援の回数を増やす。 財源の問題もあるので低所得者や生活困難者などが回数を増やすことができるなど。	平日の週3日のみの支援では十分な食事が接種できない方もいる。		長寿介護課	高齢者福祉係 包括支援係
7	1	4	③移送サービス事業	63	・自分で地区コミュニティーセンターなどに来れない方のために、コミュニティーバスを地域のサロンやイベントなど専用で、利用できるようにできないか？ ・福祉車両の利用者の幅を広くし、地域の通いの場に参加できるようにする。車両とボランティア運転手の支援が必要。	地域のサロンや地区コミュニティーセンターの介護予防事業・イベントなど参加していた方が、車いすを使用するほどではないが、歩行が不安定になってきたため、また、自動車の運転をやめたため、参加することが出来なくなったという声を多く聞く。サロン等のサポーターさんが、自分の自動車で送迎されている地域もあるが、事故があった場合のことを考えると、どの地域でも送迎できるわけではない。 コミュニティーバスも使いにくい。 “地域で介護予防・共生社会を！”と動いているのだから、菊川市独自の移送サービス事業の検討が必要。		長寿介護課	高齢者福祉係 包括支援係
9	1	6	①家族介護教室・家族介護者支援事業	66	訪問してその方にあった指導ができるようにする。	・介護者の能力や経験でできないことも多い。50代や60代の男性介護者は排せつなどの身体的なケアは介護を必要になる人に訪問介護や訪問看護を入れることで指導できることもあるが食事や選択などが適切にできずにネグレクト的になってしまうことがある。介護者に対して家事を支援できる制度がなく、生活が崩れてしまう。でかけて学ぶことではなく、それぞれの生活にあった助言が必要。		長寿介護課	高齢者福祉係 包括支援係

No.	目標	施策	事業	ページ	充実させる方法	現状の問題点や課題	その他(自由記述)	担当課	担当係
8	1	8	・災害対策・感染症対策	80	災害発生時に介護保険事業がとまらぬように担当部署がある。	災害が発生した時に包括の職員が市の職員として配置されてしまう。		長寿介護課	包括支援係
10	1	6	⑦高齢者虐待防止事業	77	虐待かもしれないケースに対し情報が共有され、支援につなげるシステムが構築される。	・介護者の能力や経験でできないことも多い。食事や洗濯などが適切にできずにネグレクト的になってしまうことがある。 ・ケアマネとして報告はしてもチームとして十分に対応できることが少ない。		長寿介護課	高齢者福祉係 包括支援係
11	3	2	①訪問介護	109	誰もが目に入る場所(病院やスーパーなど)に簡潔したポスターを貼る。 個別にチラシを配布する。(回覧板など)	事業内容の細かいことが、必要とされている人に行き渡っていないと思います。市民の誰もが知り得る方法があればと思います。	一部の人には困った時にはけ焼きに行けばいいと考えている人はいます。(相談すれば何とかしてれると思われています。)	長寿介護課	介護保険係
12	3	2	③訪問看護(介護予防訪問看護)	109	①訪問看護の内容を市民に知ってもらう。→広報活動・出前行政講座 ②ケアマネの方に訪問看護の使い始めのタイミングを知ってもらう。→ケアマネ協議会での説明 ③入院中の患者様に連携室を通してPRしてもらう。→現在もやっている。 ④病棟の看護師の方々に「退院＝施設」ではなく、在宅方向への説明を患者様にしてほしい。	①ケアマネの考え方で訪問看護の利用の有無、内容を決めてしまっているようなことが見受けられる。ケアマネがサービスを握っている感が強い。 ②看護師不足 ③24H待機できる看護師が少ない。 ④利用者意識が高くなっていて、要望が多い。(時間通り、看護師を選ぶ。)	・介護保険開始以来、ケアマネとのかかわりが深い計画作成のための担当者会議等連携を行うが、いつの間にか看護が後ろに隠れているような計画になっている感がある。意見等を伝えると次から新規利用者の依頼がなくなることもあった。 ・医師との連携は比較的もんだいなく行っている。 ・菊川市内に訪問看護ステーションの数が多く感じる。 ・利用者に充実したサービス提供できるようになれば良いのだが、...	長寿介護課	介護保険係
13	3	2	⑥通所介護	109	病院窓口にも何でも相談場所 チラシ等おいてあったり、貼ってあるのを見るけれども、基本あまり気にしていない人が多いのでは？ 文字だとあまり読みたがらない。 もし、相談窓口があれば立ち寄るのでは？	老々介護等で今の身体・認知状況判断ができない、また介護経験もないためかサービス利用必要性がわからない。		長寿介護課	介護保険係
14	3	2	⑭居宅介護支援(介護予防支援)	110	・ネットワークの構築 ・身近な相談窓口、相談電話など発信できる窓口 ・移動支援-地域住民の協力を得て、地域で対応できる支援体制	・核家族化が増え、独居や高齢者世帯が多くなり、孤立化が心配される。 行政や病院、事業所以外の地域の見守り体制(自治会、民生委員、隣近所、地域住民など) 現実まだまだ不足であり、地域全体が見守りに対する意識を高め、スムーズに連携できる体制作りが必要だと思う。 ・通院など移動支援		長寿介護課	介護保険係
15	3	2	⑤認知症対応型共同生活介護(介護予防認知症対応型共同生活介護)	111	・幅広い年齢層の職員確保 ・有資格者の確保	・人材不足 ・介護職員の負担が増えている。 ・職員の高齢化 ・外部研修への参加が難しい。(人手不足のため)		長寿介護課	介護保険係
16	3	2	⑤認知症対応型共同生活介護(介護予防認知症対応型共同生活介護)	111	働きやすい環境や待遇	・人員不足 ・職員個人の能力や知識の差がある。(研修などは行っている。) ・入居者さまのご家族の認知症に対する理解や知識不足による過剰な訴え		長寿介護課	介護保険係
17	-	-	その他 (民生委員・児童委員)	-	地域での介護予防や生活支援など、誰でも通える場を構築していくため、また、行政とのつながりをより強くしていくために、民生委員の活動を自治会単位にし、その地域にあった介護予防や生活支援を住民とともに作り上げていく。	民生委員が担当する地区において、住民の状況にもよるが、2～3地区まとめて1人の民生委員が担当している。担当者から様子を伺ったところ「自分の住んでいる地区の方なら生活状況が把握しやすいが他の地区になると、話を聞くだけで終わってしまう」と、聞いた。 地域で共生社会を構築していくためには、民生委員が行政と地域のつなぎとなる重要な役割になっていくことが必要ではないか？		福祉課	社会福祉係
18	-	-	その他 (計画全般)	-	広報誌など市民の目に触れる場所に掲載する。	もっと市民に知ってもらう方法を考えた方がいいのでは？ いろいろな事業があるが、どのように周知されているのか？	長寿行いきいき安心プランの冊子を初めて目にした。 聞いたことのある事業はあったが、知らない事業も多々あった、 (菊川市民でもないため知らなかった)	長寿介護課	介護保険係
19	-	-	その他 (その他)	-			【生活支援サービスの基盤整備の推進について】 一人暮らし、高齢者世帯に加え最近では障がいや精神疾患を抱えている家族が介護をされており双方にサポートが必要とされるケースも多くなってきています。 '住み慣れた場所でいつまでも・安心して暮らしたい。'誰もが思うことだと思います。『安心して住めるまち 菊川』のために地域の生活支援サービスがもっともっと整備、充実されるといいですね。 当事業所ではNPOの自主事業で訪問型支援事業を実施しています。生活の中のほんのちよつとの困りごとに対し短時間の支援をチケット制でサポートしています。地域住民やボランティア、NPO、学生、企業、社会福祉法人など色々な人を巻き込んで地域の困りごとに取り組みたら...。その点では介護保険の事業所もフォーマルな支援のみでなく生活支援の担い手として地域の課題に取り組む必要があると思います。それぞれの介護サービス事業所が持っている力を少しだけ地域に提供できると良いのですが...。 高齢者自身が生活支援の担い手として活動できる場も必要だと思います。	-	-